

令和2年度当初予算 主要事業一覧

(総務部関係)

(単位:千円)

事業名	金額	説明
県有施設等長寿命化推進 管財課 教育委員会管理課 警察本部装備施設課	3,500,000	・県が保有する一定規模以上の施設について、長期保全計画に基づき、長寿命化のための工事を実施。 (事業費) ・知事部局等 1,500,000千円 ・県立学校 1,640,000千円 ・警察施設 360,000千円
私立学校教育振興費補助 学事法制課	5,653,627	・私立学校の教育条件の維持向上のため、教員人件費などの経常的経費に対して補助。 ・補助金額 ・高等学校 4,311,240千円 ・小・中学校 736,192千円 ・幼稚園 269,129千円 ・専修学校など 337,066千円
(新規) 私立高等学校授業料等支援補助 学事法制課	228,960	・国の就学支援金制度の拡充に伴い、一定の保護者世帯収入を境として生じる授業料等に対する支援の差を緩和するための補助制度を創設。
(新規) 動画・放送スタジオ運営 広報課	5,152	・「情報発信の拠点」として県庁舎32階に整備中の動画・放送スタジオの運営。 ①編集ソフト等使用料 1,463千円 ②出演者経費 900千円 ③職員研修費 726千円 ほか
(一部新規) 「ぐんま応援びと」推進 広報課	1,044	・本県のブランド力強化に向け、県民自らが本県の魅力を発信していく取組として、「ぐんま応援びと」を立ち上げ、県民による草の根発信を推進。 ①(新規) ツイッター・インスタグラムによるコンテンツ ・年3回テーマを決めて投稿を募集し、投稿者を「ぐんま応援びと」に認定、さらにリツイート数等を踏まえ「ぐんま応援びとマスター」を選定・表彰 ②(新規) 「ぐんま応援びとマスター」による魅力発信 ・動画・放送スタジオを活用した本県の魅力発信動画を作成・発信
(一部新規) ぐんまちゃんのブランド化 広報課	125,180	・ぐんまちゃんに新たに世界観や物語性を付加するなどキャラクターの再構築を行うことで魅力度を上げ、世界中で知名度の高い「群馬県のシンボル」にする。 ・知名度の高さを活用したプロモーション活動を行い、本県経済の活性化やプライドの醸成を図る。 ①(新規) アニメーション動画の製作・配信 83,433千円 ・ぐんまちゃんを世界に売り込むプロモーションツールとして、アニメーション動画を作成し、動画配信サイト等で配信 ②着ぐるみによるイメージアップ 15,442千円 ・着ぐるみ出動により県内外の各地でPR活動を実施 ③着ぐるみ新規製作 4,598千円 ④Gメッセでのお誕生日会開催 3,539千円 ⑤キャラクター専用サイト作成 2,211千円 ⑥商標登録管理等 15,957千円 ・国内外のライセンス(商標権・利用許諾)の管理等を行う

事業名	金額	説明
(一部新規) フィルムコミッション活動 支援	6,000	<ul style="list-style-type: none"> 映像作品を通じた本県の魅力を発信するため、フィルムコミッション活動に対する支援を強化。 <ul style="list-style-type: none"> ①撮影支援体制の整備 3,055千円 <ul style="list-style-type: none"> ・映像制作会社に対する撮影支援や積極的な営業活動を行う体制を整備 ②(新規)専用サイトの構築 1,914千円 ③(新規)スタジオでの映像コンテンツPR 1,031千円 ・監督・プロデューサーなど映像関係者を動画・放送スタジオに招き、映像作品を通じた講演会等を実施
広報課		
(新規) 災害対策本部実施室整備基本 構想策定	3,826	<ul style="list-style-type: none"> 県内外で大規模な災害が発生した際に関係機関が集結し災害対応を行う「災害対策本部実施室」の整備に向けて、基本構想を策定。
危機管理室		
防災情報通信ネットワーク システム更新整備(地上回 線)	773,752 債務負担行為 (1,171,878)	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の安定した通信手段を継続して確保していくため、防災情報通信ネットワークシステムを更新。 <ul style="list-style-type: none"> ①地上回線更新整備工事費 760,000千円 ②施工監理業務委託等 13,752千円 (債務負担行為：1,171,878千円(R3～R4年度工事))
危機管理室		
防災ヘリコプター運航再開	2,226,176 債務負担行為 (999,728)	<ul style="list-style-type: none"> 防災航空体制を再構築するため、安全装備品を充実させた防災ヘリコプターを導入し、ダブルパイロットによる運航再開(R3年度)に向けてパイロットを養成。 <ul style="list-style-type: none"> ①新機体の購入(R2.12月納入予定) 2,069,358千円 ②受援業務の委託(R2.4～12月) 29,086千円 ③運航管理業務の委託(R3.1～3月) 127,732千円 (債務負担行為：999,728千円(R3～R7年度の運航管理))
消防保安課		

〈企画部関係〉

(単位:千円)

事業名	金額	説明
新・総合計画策定	6,400	<ul style="list-style-type: none"> ・ R 2年10月を始期とする新・総合計画を策定。 ・ 策定懇談会・有識者ヒアリング 670千円 ・ 県民幸福度アンケート調査 3,247千円 ・ 計画書印刷等 2,483千円
企画課		
(新規) SDGsイニシアティブ	1,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民をはじめ、市町村、企業及びNPOなどとのパートナーシップにより、県全体で持続可能な社会の実現に取り組む。 ・ SDGs推進セミナー開催 1,000千円
企画課		
(新規) 県内若者定着プロジェクト	2,700	<ul style="list-style-type: none"> ・ 奨学金の返還支援などにより、若者の県内定着を促進。 ・ 奨学金返還支援 2,400千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内中小企業等に就職した者に対し、企業と連携し、就職後3年間、奨学金返還を支援 ・ 補助先：県内中小企業等 ・ 補助率：企業による従業員への返還支援額の1/2 ・ 限度額：奨学金返還額の1/3以内かつ年6万円以内(→個人1/3、企業1/3、県1/3負担を想定) ・ 支援予定者数：40名 ・ 高大連携・産学連携 300千円 ・ 県内高校・大学・産業界が連携して県内進学・就職を促進するための意見交換会や勉強会開催
企画課		
(新規) 地域課題解決ラボラトリー	36,650	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域課題解決のため、民間の知恵・資金を活用して実証事業を実施。 ・ 「課題解決プロセス」構築 600千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県等が抱える行政課題と、民間企業のICT等を活用した課題解決提案をマッチングさせるため、相談会やセミナー等を開催 ・ マッチング事業実施 35,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 民間企業と連携し、課題解決に向けた実証事業を実施 ・ 実施目標：10件 ・ 「資金調達プロセス」構築 1,050千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ クラウドファンディング企業と協定を締結し、マッチング事業などにおいて民間資金を効果的に活用
企画課		
(新規) イノベーション・ハブ運営	8,495	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な主体が集い、交流することで新たなイノベーションを創発するために県庁32階に整備する拠点「イノベーション・ハブ」の運営。 (運営内容) <ul style="list-style-type: none"> ・ コーディネーター設置 ・ 地域課題と企業とのマッチングの場づくりなどを実施 ・ セミナー等の実施など
企画課		
(新規) 多文化共生・共創「群馬モデル」推進	12,152	<ul style="list-style-type: none"> ・ とともに活力ある群馬を創る「多文化共生・共創県」を目指すため、「群馬モデル」を推進。 ・ 外国人ヒューマンリソース受入相談会 1,900千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人雇用に係る疑問等に専門家が対応する企業向け相談会などを実施 ・ 海外ヒューマンリソース発掘支援 4,631千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ ベトナムにおいて、県内企業による合同企業説明会を実施 ・ 「ぐんまで日本語！」プロジェクト 3,621千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語教室の指導者養成・スキルアップ研修、日本語教室充実に係る市町村支援などを実施 ・ ぐんま国際交流フェスティバル 2,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人と日本人、また、外国人同士が交流するイベントを市町村等と連携して開催
外国人活躍推進課		

事業名	金額	説明
(一部新規) 群馬暮らしブランド化推進	53,311	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏等から本県への移住について、情報発信などを強化の上、引き続き促進。 ・(新規)高発信力人材による情報発信 1,484千円 <ul style="list-style-type: none"> ・SNS、YouTube等で発信力の高い人材が群馬県に一定期間滞在し、リアルな体験を発信 ・(新規)ライフスタイル提案型雑誌による情報発信 3,300千円 <ul style="list-style-type: none"> ・移住に関心を持つ層に人気の高い雑誌に、先輩移住者の生活体験などを掲載 ・(新規)動画・放送スタジオ活用による情報発信 230千円 <ul style="list-style-type: none"> ・住民や先輩移住者、移住コーディネーター等による対談を動画・放送スタジオで撮影し、YouTubeで発信 ・(新規)オンライン移住相談会開催 848千円 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の利便性を高めるため、Web上で移住相談会を開催 ・(新規)オンライン関係人口の創出・拡大 1,232千円 <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインプラットフォームを活用し、地域に継続的に関わってくれる県外の若者等と交流 ・ぐんま暮らし支援センター(有楽町交通会館内)相談対応・イベント開催など 46,217千円
地域政策課		
国勢調査	844,075	<ul style="list-style-type: none"> ・5年に1度の国勢調査実施。 ・対象：日本国内に居住する外国人を含むすべての人及び世帯（県内約80万世帯） ・調査項目：「出生の年月」、「国籍」など全19項目 ・基準日：R2年10月1日 ・調査方法：調査員回収のほか、オンライン回答等も実施予定
統計課		
世界遺産保存整備	196,690	<ul style="list-style-type: none"> ・関係市町が行う世界遺産構成4資産の保存修理事業に対して補助。 ・補助率：25%（災害復旧は15%） ・対象事業及び補助金額 <ul style="list-style-type: none"> ・富岡製糸場（富岡市） 167,873千円 <ul style="list-style-type: none"> ・西置繭所組立工事、乾燥場災害復旧ほか ・田島弥平旧宅（伊勢崎市） 15,102千円 <ul style="list-style-type: none"> ・保存修理（別荘、冷蔵庫跡）ほか ・高山社跡（藤岡市） 2,623千円 <ul style="list-style-type: none"> ・石垣修復 ・荒船風穴（下仁田町） 11,092千円 <ul style="list-style-type: none"> ・番舎遺構ゾーン整備工事、風穴保存工事ほか
世界遺産課		
世界遺産センター運営	52,098	<ul style="list-style-type: none"> ・R2年3月27日にオープンする県立世界遺産センター（愛称：「世界を変える生糸（いと）の力」研究所、略称：セカイト）運営。 ・センター運営 43,576千円 ・特別展示等普及啓発 4,588千円 ・学校教育連携推進 1,873千円 ・調査研究 2,061千円
世界遺産課		

〈生活文化スポーツ部関係〉

(単位:千円)

事業名	金額	説明
(一部新規) DV被害者等支援	8,244	<ul style="list-style-type: none"> ・民間支援団体と連携し、DVシェルター運営や同行支援、DV被害者の自立支援等の事業を実施。 ・(新規)DV被害者等セーフティネット強化支援 2,849千円 心理カウンセラーやキャリアカウンセラーによるDV被害者支援等を民間シェルターに委託して実施 ・DVシェルター運営、同行支援補助 1,900千円 ・DV被害者の自立支援 1,940千円 ・中学生、高校生、大学生向けデートDV講座等 540千円 ・広報啓発等 1,015千円
県民生活課		
(一部新規) 犯罪被害者等支援	5,056	<ul style="list-style-type: none"> ・民間支援団体と連携し、相談・支援体制の整備や広報啓発活動等の事業を実施。 ・(新規)犯罪被害者等支援条例策定検討 339千円 弁護士や民間被害者支援団体代表等を構成員とした条例検討委員会の設置や啓発活動を実施 ・犯罪被害者等支援業務 4,690千円 相談支援員による相談受付業務や各種啓発事業を犯罪被害者等の支援を行う民間団体に委託して実施
県民生活課		ほか
戦略的文化芸術創造	78,000	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬交響楽団など本県ならではの文化資源を活用し、Gメッセ群馬や富岡製糸場等でコンサート等を実施。 ・世界遺産劇場 R2年10月に西蔵倉庫がグランドオープンする富岡製糸場を会場に、一流アーティストと群響が共演 ・群響スペシャルコンサート 映像とのコラボレーションなどにより群響の魅力を引き出すコンサートを実施 ・伝統と革新の舞台芸術 Gメッセ群馬を会場に、一流アーティストと群響の共演や映像コンテンツを活用した展示等を実施
文化振興課		
群馬交響楽団支援	284,248	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたオーケストラである群馬交響楽団の運営基盤の安定を図るため、総合的な支援を実施。 ・楽団運営費補助 170,355千円 ・財務基盤強化 10,000千円 ・移動音楽教室 39,245千円 ・高校音楽教室 24,527千円 ・幼児移動音楽教室 4,250千円 ・東京定期演奏会 3,500千円 ・県外公演支援 1,000千円
文化振興課		ほか
(新規) 群馬交響楽団海外公演支援	69,599	<ul style="list-style-type: none"> ・文化交流を通じて、本県とベトナムとの関係強化を図るとともに、群響の活動の場を広げる取組を支援するため、群響のベトナム公演開催に対する補助及び政府関係者等とのレセプションを実施。 ・ベトナム公演開催費補助 60,000千円 ・レセプション開催 3,000千円 ・クラウドファンディング関連経費 5,610千円
文化振興課		ほか ※財源として、クラウドファンディング等による寄附を活用。

事業名	金額	説明
(新規) 群馬の温泉文化発信	518	<ul style="list-style-type: none"> ・ユネスコ無形文化遺産登録に向けて調査研究を行うとともに、官民一体となって群馬の温泉文化のストーリーを考えるきっかけとするためのシンポジウムを開催。 〔 <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究 118千円 ・温泉文化シンポジウム 400千円
文化振興課		
(一部新規) ぐんま県境稜線トレイル活用推進	16,254	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の豊かな自然環境を活かしたアウトドアスポーツによる地域活性化を図るため、国内最長の稜線登山道であるぐんま県境稜線トレイルのPR及び安全対策等を実施。 〔 <ul style="list-style-type: none"> ・稜線トレイル活用促進協議会負担金 11,491千円 ・(新規)情報発信・安全登山啓発 3,331千円 稜線トレイル全体のほぼ中間点にあたる野反湖において、6～11月に登山ガイドを常駐させ、周辺の観光情報や登山の注意情報等を提供 ・ルートマップ、PRグッズ作成 3,530千円 ・稜線トレイル体験ツアー開催 1,440千円 ・安全登山講習会等開催 1,400千円 ・トレイル安全等確認調査 1,275千円 ほか ・登山道・避難小屋等維持管理 3,378千円 ほか
スポーツ振興課		
競技力向上対策	208,000	<ul style="list-style-type: none"> ・本県から全国や世界を舞台に活躍する優秀なスポーツ選手を輩出できるよう各競技団体が実施する強化活動に対して助成。 〔 <ul style="list-style-type: none"> ・対象団体：県スポーツ協会加盟41競技団体、中体連、高体連、県スポーツ協会 ・対象事業 <ul style="list-style-type: none"> ・団体対策推進（競技団体、高体連、中体連等） ・ジュニア選手の発掘と育成 ・成年選手の強化 ・指導者の養成・資質向上 ・その他（スポーツ医科学活用、諸会議等）
スポーツ振興課		
(新規) 第83回国民スポーツ大会・第28回全国障害者スポーツ大会開催基金	500,000	<ul style="list-style-type: none"> ・R10年に開催予定の第83回国民スポーツ大会及び第28回全国障害者スポーツ大会に向け、基金を設置して運営費を積み立てることにより、財政負担を平準化。
スポーツ振興課		

〈こども未来部関係〉

(単位:千円)

事業名	金額	説明
(一部新規) 総合的な少子化対策推進	51,237	<ul style="list-style-type: none"> ・国の交付金等を活用し、結婚を希望している県民や子育て家庭を応援する事業を実施。 ・(新規)学生発! 家族形成応援チャレンジ 2,916千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークライフバランスを実践する子育て家庭の生活を体験するため、インターンシップにホームステイを加えた「ワークステイ」を学生企画で実施。 ・学生による「結婚ポジティブイメージ」動画の制作。 ・(新規)結婚・子育て希望応援 904千円 <ul style="list-style-type: none"> 動画・放送スタジオから県の取組の情報発信等を実施 ・「子育て@ぐんま」移住体験ツアー 7,049千円 <ul style="list-style-type: none"> 都内在住の子育て家庭を対象に、本県の子育て環境を体験するツアーを実施。 ・ぐんま縁結びネットワーク 3,114千円 <ul style="list-style-type: none"> 県地域婦人団体連合会に委託し、お見合い型による出会いの場を提供。 ・ライフデザイン支援事業 5,837千円 <ul style="list-style-type: none"> 大学生向けセミナーの実施や、民間団体の行うセミナー開催等に対し補助。 ・結婚新生活支援事業費補助金 16,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・対象経費：低所得世帯における、結婚に伴う新生活の初期費用（実施市町村への間接補助） ・補助上限額：30万円（国1/2、市町村1/2）
こども政策課		ほか
子ども・子育て支援事業費	15,328,486	<ul style="list-style-type: none"> ・社会全体で子育てを支援し、安心して子どもを育てられる環境を整えるため、保育所等の運営を支援するほか、市町村等が、地域の実情に応じて実施する認定こども園整備（ハード）、子ども・子育て支援事業等（ソフト・ハード）に補助。 ・子どものための教育・保育給付費負担 11,796,393千円 <ul style="list-style-type: none"> ・民間保育所等に対する運営費補助。 ・補助率 国1/2、県1/4、市町村1/4 ・認定こども園整備 640,322千円 <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等が幼稚園機能を追加するための施設改修等に対する補助。 ・補助率 国1/2、市町村1/4 ・子ども・子育て支援交付金 2,451,748千円 <ul style="list-style-type: none"> 市町村が実施する地域子ども子育て支援事業に補助。 <主な事業> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ） 1,561,014千円 ・地域子育て支援拠点事業 350,834千円 ・子育てのための施設等利用給付 365,436千円 <ul style="list-style-type: none"> ・認可外保育施設や預かり保育等の子ども・子育て支援施設に対する利用者負担を軽減。 ・補助率 国1/2、県1/4、市町村1/4 ・子ども・子育て支援整備交付金 74,587千円 <ul style="list-style-type: none"> 子育て家庭の支援に必要なハード整備費等に補助。 <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブ（県1/3・6施設） 39,756千円 （県2/9・1施設） 6,310千円 ・病児保育施設（県1/3・1施設） 15,011千円 （県3/10・1施設） 13,510千円
子育て・青少年課		

事業名	金額	説明
第3子以降3歳未満児 保育料免除	336,650	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯の経済的負担を軽減し、人口増加に向けた取組を推進するため、市町村と連携して第3子以降の3歳未満児の保育料を無料化。 <ul style="list-style-type: none"> ・補助率 県1/2、市町村1/2 ・対象者 保育所、認定こども園、認可外保育施設等の利用者で第3子以降の3歳未満児
子育て・青少年課		
(一部新規) 保育人材確保強化	59,858	<ul style="list-style-type: none"> ・保育人材の定着・確保を図るため、キャリアアップ研修等を引き続き実施するほか、再就職等を対象とした研修の実施や就職準備金貸付を新たに実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・保育士等への研修の実施 32,951千円 キャリアアップ研修、認可外保育施設・再就職希望者研修等を実施。 ・保育士修学資金、就職準備金貸付 26,907千円 修学資金貸付 保育士養成校の学生向けに修学資金の貸付を行う。 ・(新規)就職準備金貸付 保育所を離職した者等で保育施設等への就職をする者を対象とした貸付を新たに実施。 (貸付額：200千円)
子育て・青少年課		
(一部新規) 児童虐待防止総合対策	90,437	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待防止条例の制定をはじめとした各種対策の充実により、虐待対応への取組強化を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・(新規)児童虐待防止条例検討会議の開催 259千円 虐待防止の取組強化等を目的とした児童虐待防止条例制定に向けた検討を行うための有識者会議を開催。 ・(新規)東部児童相談所一時保護所新設等の体制整備 31,424千円 R2年4月1日開設予定の東部児童相談所一時保護所の運営や今年度から試行的に実施しているLINEを活用した相談体制の継続実施等。 ・医療機関における虐待対応力強化 2,895千円 虐待が疑われる児童について、医療アドバイザーによる医学診断の実施や、医療従事者向けの研修、開業医向け虐待対応マニュアルの作成を行う。 ・(新規)子どもシェルターを活用した被虐待児等への支援 10,483千円 弁護士を中心とするNPO法人が設置予定の子どもシェルターを活用し、被虐待児等の自立を支援。 ・(新規)児童養護施設の家庭支援専門相談員の増員 45,376千円 児童養護施設に配置されている家庭支援専門相談員を増員(各施設1名→2名)し、児童の早期家庭復帰等への支援を強化。
児童福祉課		
(新規) 子どもの死因究明体制整備 モデル事業	10,000	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの死因究明(チャイルド・デス・レビュー(CDR))体制整備を行う国のモデル事業を活用し、本県におけるCDR実施体制の整備・検証を全国に先駆けて行い、子どもの死亡を減らすための効果的な予防策を検討する。 <ul style="list-style-type: none"> ・CDR関係機関連絡調整会議の設置・運営 4,675千円 ・県内医療機関への全数調査によるCDRデータ収集・検証 3,247千円 ・多機関検証委員会、ワーキンググループの開催 2,078千円
児童福祉課		

〈健康福祉部関係〉

(単位:千円)

事業名	金額	説明
フレイル予防	14,979	<ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命の延伸・介護予防の取組を強化するため、フレイル予防を推進。 ※フレイルとは、加齢などにより、筋力や体力などが低下し始めた、要介護になる手前の状態。適切な支援により回復が可能。 ①フレイル予防推進リーダー養成 2,132千円 <ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防について学び、地域で活動する住民（推進リーダー）を養成するため、教材作成、講習会、モデル市町村（6か所）での実証事業を実施。 ②フレイル予防インストラクター養成 216千円 <ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防について住民に指導するインストラクターを養成するための研修会を実施。 ③地域リハビリテーション支援センター運営 12,631千円 <ul style="list-style-type: none"> ・県支援センター（1か所）及び広域支援センター（12か所）により、住民への普及啓発や関係機関との連絡調整等を実施。
地域包括ケア推進室		
認知症施策の推進	54,342	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村や医療機関等と連携し、認知症に対する施策を総合的に推進。 ①認知症疾患医療センター運営 37,716千円 <ul style="list-style-type: none"> ・県内14か所の医療機関により、鑑別診断と初期対応、専門医療相談等を実施するとともに、関係機関との連絡調整等を実施。 ②若年性認知症支援コーディネーター設置 4,222千円 <ul style="list-style-type: none"> ・若年性認知症の本人・家族の相談支援、職場や就労支援機関、医療・福祉等の関係機関との連絡調整を行うコーディネーターを①のセンターに設置。 ③本人の意思決定、発信支援 431千円 <ul style="list-style-type: none"> ・本人の意思の形成、表明、実現を支援するプロセスに関する市町村等向けの研修や、認知症の方が集い、自らの体験や希望等を語り合うミーティングを実施。
地域包括ケア推進室		ほか

事業名	金額	説明
(一部新規) 医師確保対策	449,242	<p>・ドクターズカムホームプロジェクト(DCHP)を推進し、より強力に若手医師の確保や医師の偏在解消に取り組む。</p> <p>①研修医確保・医師の県内定着と偏在解消</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急医師確保修学資金貸与(地域医療枠・111人分) 203,640千円 ・医学生修学資金貸与(R元:10人分→R2:39人分) 49,800千円 <p>〔</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 R元:県内出身の県外医学部5、6年生 R2:県外医学部又は県外出身の群大医学部の5、6年生 ・貸与額 R元:10万円/月 R2:10万円/月 又は 15万円/月※ ※医師少数区域(渋川、館林)での臨床研修を希望する場合 <p>〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療支援センター運営 88,208千円 ・(一部新規)ぐんまレジデントサポート推進 23,918千円 ・(新規)病院見学助成事業 1,870千円 県外医学部5、6年生が県内の臨床研修病院を見学又は受験する際の交通費を補助(5千円~20千円)。 ・レジナビでのPR 13,642千円 東京会場の出展ブースを改善するほか、仙台にも出展。 ・(新規)動画を活用したPR 72千円 ・(新規)県外医学部県人会との意見交換 510千円 <p>ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門医認定支援 6,492千円 ・(新規)医師臨床研修推進 898千円 国からの移譲事務(臨床研修病院の指定等)に係る経費 <p>②診療科偏在対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師確保修学研修資金貸与 30,600千円 ・産科医師等分娩手当補助 20,863千円 ・周産期医療従事者育成支援 2,500千円 ・産科医療を担う産科医等確保 7,323千円 <p>③男女を問わず医師が働き続けやすい環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育サポーターバンクの運営支援 15,000千円
医 務 課		
(一部新規) 地域医療構想の推進	231,257	<p>・将来の医療需要を見据え、地域において効率的かつ質の高い医療提供体制を構築する地域医療構想の実現に向けた取組を推進。</p> <p>①回復期への転換、病床減への補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回復期病床新築整備 83,150千円 ・ " 改修整備 73,375千円 ・ " 転換促進設備整備 2,800千円 ・病床用途変更(病床減)改修整備 58,700千円 ・ " 設備整備 4,000千円 <p>②(新規)医療機能の分析等支援 8,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機能の見直し(病床機能の転換、連携など)を進めようとする公的医療機関等(2か所)に対し、専門家による分析等を行う経費を補助。 ・補助率 2/3(基準額6,000千円)
医 務 課		ほか

事業名	金額	説明
(一部新規) 介護人材確保対策	169,725	<ul style="list-style-type: none"> ・介護分野への新たな人材の参入促進、介護職員の職場定着及び資質向上などの介護人材確保対策を総合的に推進。 ①参入促進 82,698千円 <ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士修学資金等貸付 14,860千円 ・介護に関する入門的研修支援 3,103千円 ・介護未経験者が介護助手や介護ボランティアに参入しやすくするための研修について、市町村の実施補助に加え、企業団体職員向けに県が講師を派遣して実施。 ・(新規)介護職機能分化等促進 30,000千円 ・介護助手の活用等、介護現場の生産性向上のための事業者の取組に対して補助。 ・(新規)介護職員初任者研修支援 2,500千円 ・初任者研修の受講料を補助する市町村に対し、その経費の一部を補助。 ・補助率 県1/2、市町村1/2(基準額50千円) ・(新規)外国人留学生への奨学金支給支援 6,800千円 ・日本語学校や介護福祉士養成施設で学ぶ留学生に対して生活費、学費等を支給する事業者を補助。 ・基準額 日本語学校 960千円/年 介護福祉士養成施設 1,200千円/年 ・補助率 県1/3、介護事業者2/3 ・(新規)外国人介護人材受入施設等環境整備 10,000千円 ・補助対象 <ul style="list-style-type: none"> ①外国人職員を受け入れる介護施設 外国人職員の介護福祉士資格取得に向けた学習支援や生活支援のための経費等 ②介護福祉士養成施設 教員の質の向上のための研修経費等 ・補助率 2/3(事業費上限 300千円/施設) ②定着支援 37,500千円 <ul style="list-style-type: none"> ・介護ロボット等導入支援 20,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ロボット(離床センサー等)に加え、ICT機器(タブレット端末等)を補助対象に追加。(補助率1/2) ・(新規)介護職員に対する悩み相談窓口設置 3,481千円 ③資質向上 49,327千円 <ul style="list-style-type: none"> ・現任介護職員キャリアアップ支援 13,000千円 ・ぐんま認定介護福祉士養成 10,848千円 ・認知症介護指導者養成 11,536千円 ④介護人材確保対策会議 200千円
介護高齢課		
老人福祉施設整備費補助	550,900	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅での生活が困難な重度の要介護者や認知症高齢者の増加に対応するため、第7期高齢者保健福祉計画(H30～R2年度)に基づき、特別養護老人ホームの施設整備等に対して補助。 ・広域型特養整備(150床) 480,900千円 ・大規模修繕 70,000千円
介護高齢課		

事業名	金額	説明
(一部新規) 健康寿命延伸対策	6,624	<ul style="list-style-type: none"> 健康寿命の延伸に向け、健康ポイント制度導入に向けた検討、「元気に動こう・歩こうプロジェクト」の普及、受動喫煙防止対策の強化、糖尿病予防指導プログラムの策定などを実施。 (新規)健康ポイント制度導入に向けた検討会議 303千円 元気に動こう・歩こうプロジェクト 1,288千円 <ul style="list-style-type: none"> 実践リーダーの育成 実践フォーラムの開催 実践活動の実施 受動喫煙防止対策推進会議 404千円 (新規)群馬県食育推進計画の策定 824千円 糖尿病予防指導プログラムの策定 ほか 3,805千円
保健予防課		
(一部新規) 障害者スポーツ推進	11,751	<ul style="list-style-type: none"> 東京2020パラリンピック聖火フェスティバルの開催及びR10年全国障害者スポーツ大会に向けた普及促進を実施。 (新規)東京2020パラリンピック聖火フェスティバル 10,385千円 障害者スポーツ普及推進 ほか 1,366千円 トップアスリートとの交流や元気県ぐんまのスポーツフェスタなどを実施
障害政策課		
障害児者施設整備	1,158,118	<ul style="list-style-type: none"> 障害児者施設の耐震化改築等の施設整備に対して補助。 補助対象 5施設 補助率 国1/2、県1/4、事業者1/4
障害政策課		
福祉医療費補助	7,794,711	<ul style="list-style-type: none"> 子ども医療費補助 3,902,643千円 子育て世帯を支援するため、県と市町村が協力して、中学校卒業までの医療費無料化を継続して実施。 重度心身障害者医療費補助 3,256,744千円 重度の障害がある方に必要な支援を行うため、県と市町村が協力して重度心身障害者の医療費無料化を実施。 母子家庭等医療費補助 634,434千円 母子家庭等を支援するため、県と市町村が協力して、母子家庭等の医療費無料化を実施。 福祉医療制度在り方検討会 890千円 福祉医療制度の見直し状況の検証等、持続可能な制度の在り方について検討。
国保援護課		
(新規) 動物愛護普及啓発 (犬猫パートナーシップ店制度)	746	<ul style="list-style-type: none"> 「犬猫パートナーシップ店制度(仮称)」導入に向けた検討を実施。 ※犬猫パートナーシップ店制度 <ul style="list-style-type: none"> 飼い主に対する適正・終生飼養の指導・啓発や県の譲渡会のPR等に協力してくれるペットショップ等を登録する制度。福岡市などで実施されている。 検討会の開催 66千円 制度の周知啓発資料作成 680千円
食品・生活衛生課		

〈森林環境部関係〉

(単位:千円)

事業名	金額	説明
(一部新規) 森林環境譲与税事業	76,483	・国からの森林環境譲与税を財源として、森林整備を行う市町村への支援や林業従事者の確保に向けた取組等を行う。 ①森林経営管理支援 63,953千円 ・高度化した森林資源情報を市町村へ提供。 ②市町村森林業務支援 2,004千円 ・市町村林務担当者基礎研修等を開催し、市町村の実施体制を支援。 ③(新規)新規林業就業者対策 2,308千円 ・新規就業者の増加に向け、群馬県林業労働力確保支援センターの情報収集・発信機能を強化。 ④(新規)伐倒初心者講習 6,668千円 ・林業における労働災害を減少させるため、伐倒練習機を導入し講習会等を実施。 ⑤(新規)みんなで広げるぐんま木づかい推進 533千円 ・木の良さや木材利用の意義を学ぶ木育を推進するため、都道府県では3例目となる「ウッドスタート宣言」を実施。宣言とあわせ、木育講演会を開催。 ほか
林業政策課 林業振興課		
林業・木材産業構造改革	99,312	・森林整備の促進と木材産業の振興を図るため、高性能林業機械の導入等を推進。 ①高性能林業機械等の整備 ・事業主体：吾妻森林組合等4者 ・補助率：国1/3 ・補助額：25,398千円 ②林業機械リース支援 ・事業主体：利根沼田森林組合等8者 ・補助率：国1/3 ・補助額：66,147千円 ③林業成長産業化地域創出モデル事業 ・事業主体：川場村、利根沼田森林組合 ・補助率：国10/10又は1/2 ・補助額：7,767千円
林業振興課		
ぐんま緑の県民基金事業	953,743	・ぐんま緑の県民税を財源として、水源地域等の森林整備を行うほか、市町村・地域住民が行う里山・平地林の整備に対する補助等を実施。 ・水源地域等の森林整備 616,224千円 ・ボランティア活動・森林環境教育の推進 14,626千円 ・市町村が提案・実施する事業に対する補助 318,916千円 ・制度運営(評価検証・普及啓発等) 3,977千円
緑化推進課 林業試験場		

事業名	金額	説明
(一部新規) ぐんま再生可能エネルギー プロジェクト	223,258 〔 一般会計分 198,258 新エネルギー 特別会計分 25,000 〕	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における自立・分散型電源の構築、普及推進とともに水素の利用促進を図り、低炭素で安全安心な地域づくりを積極的に推進。 ①点の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・住宅用太陽光発電整備等導入資金（制度融資・金利1%） 197,851千円 ・(新規)県有施設に太陽光発電設備と蓄電池を整備 新エネルギー特別会計 25,000千円 ②(新規)面の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・地域マイクログリッドの検証及びマスタープラン策定 300千円 地域に存在する再生可能エネルギーを活用し、災害等による大規模停電時に自立して電力を供給できる「地域マイクログリッド」の構築を民間企業と検証し、マスタープランを策定 ③(新規)水素の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・有識者会議開催 107千円
環境政策課		
(新規) 不適正処理対策（ドローン 測量システム導入）	1,784	<ul style="list-style-type: none"> ・不適正処理された産業廃棄物量や土砂埋立量を迅速かつ正確に把握し、事案の早期解決及び土砂条例の適正運用を図るため、ドローン測量システムを導入(5年リース)。
廃棄物・リサイクル課		
(一部新規) クビアカツヤカミキリ総合 対策	33,629	<ul style="list-style-type: none"> ・東毛を中心に被害が拡大しているクビアカツヤカミキリについて、総合的な対策を実施し、被害の拡大を防止。 ①(新規)予防対策 29,154千円 <ul style="list-style-type: none"> ・被害未発生地域（主に太田市内）のサクラに対し薬剤注入を行うことにより、クビアカツヤカミキリの侵入を防ぎ、他地域への被害拡大を防止。 ②(新規)防除対策技能向上 1,013千円 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村と連携し、県民を対象とした防除対策講習会を複数回開催。受講者をクビアカリポーターに任命し、早期発見・報告体制を整備。 ③(新規)県有施設防除対策 3,362千円 <ul style="list-style-type: none"> ・被害が発生している県有施設の防除対策を行うため防除資材を整備。 ④邑楽館林地域クビアカツヤカミキリ対策協議会 100千円 <ul style="list-style-type: none"> ・県及び邑楽館林地域の6市町を構成員とする対策協議会の負担金。
自然環境課		
補助公共事業 (森林環境部)	7,850,000	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備の推進、森林の多面的機能の発揮及び山地災害の防止のため、林道・作業道整備、造林、治山等の補助公共事業を実施。 〔 林道、作業道等の整備 1,974,000千円 ・造林、間伐の推進 1,091,000千円 ・治山 4,785,000千円 〕
森林保全課		
単独公共事業 (森林環境部)	2,722,000	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備の推進、森林の多面的機能の発揮及び山地災害の防止のため、小規模事業など補助公共事業では対象とならない林道・作業道整備、造林、治山等の県単独公共事業を実施。 〔 林道・作業道等の整備 600,000千円 ・造林、間伐等の推進 104,000千円 ・治山 2,018,000千円 〕
森林保全課 緑化推進課		

〈農政関係〉

(単位:千円)

事業名	金額	説明
(新規) G-アナライズ&PR (分析評価)	22,155	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康」をキーワードに県産農畜産物の成分分析を行い、その成果を消費者に伝えることで販売促進につなげるとともに、消費者の反応を生産現場に生かすサイクルを作る取組。これにより、群馬の魅力発信と県民所得の拡大を図る。
農畜課		<ul style="list-style-type: none"> ①分析・販売促進と生産対策 17,617千円 <ul style="list-style-type: none"> ・県試験研究機関及び外部機関における県産農畜産物の成分分析 ・分析成果に基づく消費者への魅力発信 ・分析成果や消費者の反応を農畜産物の生産に生かす取組 ②分析機器の整備 4,538千円 <ul style="list-style-type: none"> ・農業技術センターに食感等を測定する機器を設置
(一部新規) 蚕糸業振興	73,131	<ul style="list-style-type: none"> ・本県蚕糸業を産業として継承していくため、多様な担い手の確保・育成を図るとともに、付加価値の高い蚕糸業を実現するため、遺伝子組換えカイコの実用化研究を実施。
農蚕課		<ul style="list-style-type: none"> ①遺伝子組換えカイコ実用化研究 13,304千円 <ul style="list-style-type: none"> ・有用物質や高機能シルクを生産するためのカイコの品種開発及び飼育量拡大 ・低コスト人工飼料や周年無菌全齢人工飼料育技術の開発 ②県産繭確保対策 51,600千円 <ul style="list-style-type: none"> ・養蚕農家等で組織する協議会が取り組む、繭生産量の維持や高品質繭の増産等の活動に対して支援。 ・補助額：生産繭量1kg当たり最大1,200円 ③多様な養蚕担い手の育成強化 4,076千円 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村や農協等と連携して、初期投資の軽減や養蚕農家での実践研修等を実施。 ④確氷製糸経営基盤強化 4,151千円 <ul style="list-style-type: none"> ・県産オリジナルシルク広報事業 ・GMシルク商品開発支援 ・(新規)高品質生糸繰糸機械等整備 ・確氷製糸が導入する機械等整備補助
(一部新規) ICT活用・スマート農業推進	20,810	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した施設整備による試験研究の充実強化やクラウドサービスを活用した農業指導など、スマート農業の普及に向けた取組を推進。
農技術課		<ul style="list-style-type: none"> ①(新規)黒毛和種研究拠点整備 17,930千円 <ul style="list-style-type: none"> ・黒毛和種繁殖育成牛舎の設計費 ②生産技術の見える化 341千円 <ul style="list-style-type: none"> ・規模拡大に対応したこんにやく管理技術の研究 ・切りバラ環境制御技術の効果試験 ③(新規)迅速・リアルタイムな指導 2,037千円 <ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業の実装等に向けたクラウドサービスの活用 ④ディフェンス力強化 208千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ドローン等を活用した病害虫対策支援 ⑤(新規)スマート農業推進 294千円 <ul style="list-style-type: none"> ・研修会等の実施、国庫事業採択事例の情報収集等 <p>※2月補正で、畜産試験場に搾乳施設等を整備。</p>

事業名	金額	説明
新規就農者促進・担い手への支援	412,329	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の担い手を確保・育成するため、新規就農者、女性農業者、障害者、認定農業者等に対する支援を実施するとともに、担い手への農地集積を推進。 ①女性農業者活動支援 1,735千円 <ul style="list-style-type: none"> ・女性農業者による地域活動や起業活動に対する支援 ②農福連携推進 5,419千円 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校生徒の現場実習を実施 ・農福連携相談窓口のJA設置数を増加 ③就農促進対策 13,114千円 <ul style="list-style-type: none"> ・就職セミナーや相談会の実施 ・研修支援体制の整備 ④はばたけ「ぐんまの担い手」支援 60,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・意欲ある担い手や新規就農者、農業へ参入する企業等が行う機械、設備等の導入支援 ⑤農地利用促進対策 332,061千円 <ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理事業の効果的な推進のため、農地中間管理機構（農業公社）の運営費等を補助
農業構造政策課		
鳥獣被害対策支援	916,676	<ul style="list-style-type: none"> ・農林漁業者が効果を実感できるよう、関係部局が連携しながら対策を推進。 ①捕獲推進（捕る対策） 394,768千円 <ul style="list-style-type: none"> ・生息状況調査、適正管理計画の策定・推進 30,969千円 ・指定管理鳥獣捕獲等事業 86,545千円 ・市町村が実施する有害鳥獣捕獲に係る経費の補助 211,527千円 ②防護対策、生息環境管理（守る対策） 505,551千円 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣被害防止総合対策交付金（国1/2以内、定額）※市町村が実施する侵入防止策の整備等を支援 126,500千円 ・小規模農村整備、水利施設等保全高度化事業など 149,335千円 ・移動経路寸断のための河川整備 155,000千円 ③調査・研究、人材育成（知る対策） 16,357千円 <ul style="list-style-type: none"> ・被害対策に携わる人材の体系的育成 1,256千円 ・日獣医大との連携による対策技術の開発等 9,000千円
林業政策課 自然環境課 林業試験場 技術支援課 農村整備課 鳥獣被害対策支援センター 河川防砂課		
「野菜王国・ぐんま」総合対策	134,000	<ul style="list-style-type: none"> ・本県農業産出額の約4割を占める野菜の生産振興のため、認定農業者等に総合的な支援を実施。 ①大規模野菜経営体育成支援 40,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・企業の経営体を目指す認定農業者等が行う、施設・機械の整備を支援。 ②ぐんまの野菜産地育成支援 84,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・組織的に野菜生産に取り組む産地の生産拡大を図るための施設・機械の整備等を支援。 ③次世代農業ステップアップ支援 10,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・生産性の向上を図るための環境制御機器や先端技術機器整備を支援。
蚕糸園芸課		
野菜生産出荷安定資金造成費補助	231,610	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜生産農家の経営安定を図り、野菜を計画的に生産・出荷するため、市場価格が著しく低下した場合、生産者に補給金を交付する資金を、国、県、生産者等で造成。 ・品目ごとの保証基準額と販売価格との差額について、補給金を交付し、翌年度に交付額相当の資金を補てん。 ・負担者：国、県、市町村、全農、農協、生産者
蚕糸園芸課		

事業名	金額	説明
(一部新規) 県産農畜産物ブランド力強化対策	39,335	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県産農畜産物の魅力・価値を「ブランド」として県内外の消費者に認知してもらえるように各種事業を実施。 ① 新たな品目・品種のブランド化に向けた取組 4,693千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ ブランド戦略協議会等運営 ・ 首都圏販売店における県産青果物等販売支援 ② 産地としての群馬県イメージの向上 11,253千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ・SNS・動画配信等による情報発信 ・ ぐんまちゃん家と連携した産地プロモーション ・ (新規) 首都圏の料理教室を活用した魅力発信 ・ 都内販売協力店支援 ・ (新規) DCと連携した産地PR ③ (新規) 群馬の食材PR 23,389千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ イベント等での県産食材PR ・ 企業と連携した豚肉PR
ぐんまブランド推進課		
(一部新規) 農畜産物等輸出促進	42,928	<ul style="list-style-type: none"> ・ 輸出に取り組む生産者等の育成や海外マーケットに対応した農畜産物の生産振興及び産地育成を図り、県産農畜産物の輸出促進及び海外販路の開拓・拡大に取り組む。 ① 海外需要を踏まえた生産・販売促進 17,340千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ タイでのPR販売やバイヤー招へい商談会の実施 ・ (新規) 国内で開催される国際食品見本市への出展 ② 輸出取引拡大支援 5,527千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸出促進支援員の設置 ・ 輸出促進セミナーの開催 ・ 輸出に取り組む生産者等への補助 ③ 輸入規制対応 15,387千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 香港でのPR販売及びバイヤー招へい商談会の実施 ・ (新規) 東アジア向け輸出体制整備 ④ (新規) 広域連携推進 3,164千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 北関東3県合同でのバイヤー招へい商談会の実施 ⑤ 情報発信・管理 1,510千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ ウェブサイト管理 ・ (新規) 統一ロゴマークの海外商標登録
ぐんまブランド推進課		
C S F (豚熱) 対策	424,386	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飼養豚へのC S F ウイルス感染を防ぐため、R元年度に実施しているC S F 対策緊急総合支援のうち、R2年度も実施が必要な2事業を継続。 ・ 野生イノシシC S F 感染確認 25,357千円 ・ ワクチン接種、免疫付与状況確認 399,029千円
畜産課		
浅間家畜育成牧場草地・施設整備	546,483	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内酪農家からの乳用育成牛預託頭数増加の要望に対応するため、採草地、集中管理牛舎等を整備。 ・ R2年度は草地整備改良、施設用地造成、飼料調製貯蔵施設整備等を実施。 <p><計画概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 整備内容：草地・集中管理牛舎・堆肥舎等関連施設整備、草地管理機械・牛舎関連機械導入、遊歩道防護柵設置等 ・ 事業期間：R元年度～R5年度 ・ 総事業費：約22億円 ・ 受入頭数：現在 夏季470頭、冬季330頭 →整備後 通年600頭
畜産課		

事業名	金額	説明
グリーン・ツーリズム推進	5,949	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域における集落の維持を図るため、地域への誘客促進や生きがいの創出、所得向上につなげるグリーン・ツーリズムを推進。 〔 <ul style="list-style-type: none"> ・推進体制確立（協議会開催、広報宣伝等） 3,449千円 ・農泊推進（農泊モデル地区支援等） 2,500千円
農村整備課		
農業水利施設等の防災・減災対策の推進	493,000	<ul style="list-style-type: none"> ・頻発化、激甚化する大規模地震や異常気象に対応するため、農業水利施設等の防災・減災対策（ため池の耐震化）を集中的に推進。
農村整備課		
小規模農村整備	601,600	<ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助事業の対象とならない小規模な農業生産基盤の保全・整備や鳥獣害防止施設の整備など、農村地域の多様なニーズに対応したきめ細かな支援を実施。 〔 <ul style="list-style-type: none"> ・事業主体：市町村、土地改良区、JA等 ・事業メニュー <ul style="list-style-type: none"> ①農業生産基盤保全整備（ほ場整備等） ②農村地域保全整備（災害復旧等） ③特別対策（鳥獣害対策等） ・補助率：1/3～1/2 <ul style="list-style-type: none"> ・農業用施設災害復旧のみ65% ・「①農業生産基盤保全整備」については、事業実施後3年以内に担い手等への農地集積率が現状から10%以上増加することが確実と見込まれる場合、補助率を10%加算
農村整備課		

〈産業経済部関係〉

(単位:千円)

事業名	金額	説明
小規模事業経営支援事業費補助	1,676,224	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済を支える小規模事業者への経営支援を行っている商工会、商工会連合会、商工会議所等へ運営費及び事業費を補助。 〔・商工会、商工会連合会への補助 1,166,557千円 ・商工会議所、商工会議所連合会への補助 509,667千円〕
産業政策課		
(一部新規) 湯けむり創造フォーラム開催	10,000	<ul style="list-style-type: none"> ・日本を代表する経済人・有識者を本県(草津町)に招き、本県経済の持続可能な発展を図るため、湯けむり創造フォーラムを開催。 ・R元年度のプレイベントで実施する基調講演、パネルディスカッションに加え、分科会や先端技術の紹介等を実施。
産業政策課		
(新規) スタートアップ支援	2,000	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップ企業を継続的に県内から生み出すためのエコシステム形成(スタートアップ企業の成長可能な土壌づくり)に向けた取組を開始。 〔・スタートアップ支援 スタートアップ支援機関等で構成するコンソーシアムを立ち上げ、本県におけるスタートアップ支援のあり方を検討。 ・スタートアップエコシステム形成 県庁舎32階を活用したイノベーションスペース等で、アクセラレーター事業者によるセミナー等を実施。〕
商政課		
(一部新規) 制度融資	22,579,395 債務負担行為 (165,000)	<ul style="list-style-type: none"> ・本県経済の活力を高めるため、長期・固定金利の制度融資により、県内中小企業の積極経営を後押しするとともに、経営の安定を図ろうとする中小企業を金融面から支援。 〔・資金数・総融資枠:12資金、680億円 (R元 12資金、700億円) ・SDGs要件の創設(新規) <ul style="list-style-type: none"> ・企業におけるSDGsへの関心の高まりを踏まえ、中小企業パワーアップ資金に「SDGs要件」を創設し、中小企業での取組を資金面から支援。 ・経営改善に向けた支援(借換制度の改善) <ul style="list-style-type: none"> ・小口資金を除く各資金における借換要件を見直し、経営改善に計画的に取り組もうとする中小企業者への支援を強化。
商政課	(中小企業振興資金特別会計)	
ぐんま新技術・新製品開発補助	70,000	<ul style="list-style-type: none"> ・本県産業の競争力強化と新産業創出を促進するため、県内中小企業の新技術、新製品開発を支援。 ・事業内容 <ul style="list-style-type: none"> 〔・市町村・県パートナーシップ支援型 22,000千円 <ul style="list-style-type: none"> 〔・補助限度額 800千円(県・市町村各400千円) ・企業負担額 200千円以上 ・先端ものづくり産業推進型 48,000千円 「次世代産業推進型」と「航空宇宙産業推進型」を統合 <ul style="list-style-type: none"> 〔・補助率 1/2 ・補助限度額 8,000千円
工業振興課		
(新規) オープンイノベーション推進	2,916	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代産業を創出するため、企業規模・業種・業態の枠を超えたオープンイノベーションの機会を提供。 〔・機運醸成のためのセミナーの開催 145千円 ・社会課題解決アイデアソンの実施 2,097千円 ・アドバイザーによる事業化支援 674千円
次世代産業課		

事業名	金額	説明
(一部新規) 医療・ヘルスケア産業振興	15,711	<ul style="list-style-type: none"> 医療ヘルスケア分野への参入を支援するため、開発段階から販路開拓段階までの一貫した支援を実施。 <ul style="list-style-type: none"> (新規) ヘルスケア産業振興 2,225千円 <ul style="list-style-type: none"> 機運醸成のためのセミナー等の開催 本県大学と連携した健康食品等の開発を支援 ヘルスケアサービス等のPR支援 医療機器産業等参入支援 13,486千円 <ul style="list-style-type: none"> 機運醸成のためのセミナーの開催 コーディネーター等によるニーズ把握、マッチング支援 試作開発や展示商談会への出展等を支援
次世代産業課		
(一部新規) 障害者雇用促進強化対策	43,531	<ul style="list-style-type: none"> 障害者雇用の促進を図るため、障害者に対する適切な就労支援・定着支援や、法定雇用率達成に向けた企業への働きかけを実施。 <ul style="list-style-type: none"> 障害者就労サポートセンター運営 4,983千円 <ul style="list-style-type: none"> 企業訪問による障害者雇用の提案や定着の支援等 障害者就労開拓支援委託 34,208千円 <ul style="list-style-type: none"> 障害者の就労先及び実習先の開拓を民間職業紹介業者に委託 (新規) 障害者のスマートワーク支援 699千円 <ul style="list-style-type: none"> 障害者のスマートワークにかかる先進企業の調査、普及啓発セミナー、合同企業説明会を開催 (新規) 企業と就労支援施設の連携促進 107千円 <ul style="list-style-type: none"> 企業と就労支援施設の情報交換会、企業で働く障害者と施設利用者の交流会を開催
労働政策課		ほか
(一部新規) コンベンション推進 (Gメッセ群馬開所イベント・利活用推進)	66,398	<ul style="list-style-type: none"> 「Gメッセ群馬」のオープンを県内外に周知するとともに、施設の魅力発信や利活用推進に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> Gメッセ群馬開所式典 6,907千円 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：4月18日(土) 開催内容：群馬交響楽団ウェルカム演奏等 Gメッセ誕生祭 38,605千円 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：4月18日(土)、19日(日) 開催内容：ステージイベント、飲食・物産、観光体験コーナー、eスポーツ大会など。 (新規) Gメッセ群馬利活用推進 <ul style="list-style-type: none"> ①Gメッセ群馬魅力発信 15,192千円 <ul style="list-style-type: none"> 認知度向上のため、各種媒体を活用し、施設の魅力を発信。 ②Gメッセ群馬活用応援事業 694千円 <ul style="list-style-type: none"> 県内事業者や学生等からGメッセ群馬のイベント企画・提案を募集し、プレゼン形式のコンテストを開催。
コンベンション推進課		ほか
(新規) eスポーツ推進	53,381	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県におけるeスポーツを推進するため、関係者等と連携し、セミナーや大会を開催する。 <ul style="list-style-type: none"> eスポーツ推進セミナー・フォーラム等の開催 1,572千円 eスポーツ大会の開催 50,000千円 <ul style="list-style-type: none"> 高校生等を対象としたeスポーツ大会を開催。
コンベンション推進課		ほか

事業名	金額	説明
(一部新規) インバウンド誘客促進	154,268	<ul style="list-style-type: none"> ・FIT(個人旅行者)に対応するため、デジタル媒体を活用した宣伝とITを活用した受入環境整備に取り組む。 ・海外セールスプロモーション 43,894千円 ①(新規)デジタル媒体を活用した連携事業 23,100千円 <ul style="list-style-type: none"> ・各対象地域に応じたデジタルプロモーションを実施 ②(新規)首都圏プロモーション事業 6,500千円 <ul style="list-style-type: none"> ・東京オリパラ大会を活用した首都圏でのプロモーションを実施。 ③海外現地プロモーション等 14,294千円 ・広域連携誘客促進 11,633千円 <ul style="list-style-type: none"> ・国や近隣自治体と連携した海外プロモーションの実施。 ・受入環境整備 14,897千円 <ul style="list-style-type: none"> ①外国人誘客のための施設登録制度運営 8,632千円 <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド対応に積極的な観光施設を登録し、更なる誘客につながるサポート及びPRを実施。 ②(新規)口コミを活用したインバウンド推進 150千円 <ul style="list-style-type: none"> ・県内観光施設の 口コミ サイト等に掲載された 口コミ への対応状況を調査し、表彰等を実施。 <p style="text-align: right;">(ほか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語観光情報発信 8,844千円 ・(新規)英語版観光情報サイト新規構築 75,000千円
観光物産課		
群馬デスティネーションキャンペーン	53,852	<ul style="list-style-type: none"> ・R2年4～6月に開催される群馬DC及び翌年に開催されるアフターDCに向け、広報宣伝、誘客対策、受入体制整備を進める。 ・JR東日本等と連携し、DC及びアフターDCに向けた広報宣伝を実施 ・観光キャラバン等の誘客対策や受入体制を整備
観光物産課		
(一部新規) 千客万来支援	80,000	<ul style="list-style-type: none"> ・千客万来支援事業費補助金 ・市町村等が実施する観光振興施策・事業に対して補助。 <ul style="list-style-type: none"> ・補助率：1/2以内(一部1/3以内) ・補助限度額：5,000千円 ・補助対象事業：国際観光推進、ビジタートイレ推進、地域資源活用推進、観光施設リニューアル、歴史文化遺産活用推進、観光客周遊化支援、ぐんまの山誘客促進 ・インバウンド推進・IT化特別支援助成 <ul style="list-style-type: none"> ・観光地のICTを活用した多言語対応、キャッシュレス、公衆無線LAN整備等を促進。 ・補助率：1/2以内 ・補助限度額：10,000千円
観光物産課		

〈県土整備部関係〉

(単位:千円)

事業名	金額	説明
災害レジリエンス No. 1の実現	27,080,048	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水害等の気象災害が頻発・激甚化する中で、気象災害の新たな脅威にしっかりと対応するため、「群馬・気象災害非常事態宣言」を踏まえ、「災害レジリエンスNo. 1」の実現に向け、ハード・ソフト両面からの防災・減災対策を更に加速させる。 ①ソフト対策 871,393千円 <ul style="list-style-type: none"> 水害対策 <ul style="list-style-type: none"> [水害からの避難をサポート] ・ 水位周知河川の追加指定 [休泊川(館林市) ほか] ・ リアルタイム水害リスク情報システムの開発 ・ 要配慮者利用施設の避難支援 土砂災害対策 <ul style="list-style-type: none"> [土砂災害からの避難をサポート] ・ 防災マップの作成支援 <ul style="list-style-type: none"> [防災マップ作成および実働避難訓練] ・ 要配慮者利用施設の避難支援 ②ハード対策 26,208,655千円 <ul style="list-style-type: none"> 水害対策 <ul style="list-style-type: none"> [洪水による浸水被害を軽減] ・ 河川改修 [八瀬川(太田市) 利根川(伊勢崎市) ほか] ・ 堤防強化 [烏川(高崎市)] ・ ダムの洪水調節能力の増強 [県営6ダム] 土砂災害対策 <ul style="list-style-type: none"> [土石流やがけ崩れ等による被害を軽減] ・ 土石流対策 [天神沢(藤岡市) 大沢川(東吾妻町) ほか] ・ がけ崩れ対策 <ul style="list-style-type: none"> [西久方町1丁目1地区(桐生市) 千原地区(南牧村) ほか] ・ 地すべり対策 [駒留地区(藤岡市) ほか] 道路防災 <ul style="list-style-type: none"> [災害時にも機能する道路ネットワークの構築] ・ 法面对策 <ul style="list-style-type: none"> [国道353号村上工区(渋川市) ほか] ・ 無電柱化 <ul style="list-style-type: none"> [国道354号小桑原工区(館林市) ほか] ・ 冠水対策 <ul style="list-style-type: none"> [国道462号山王工区(伊勢崎市) ほか]
監 理 課 建 設 企 画 課 道 路 管 理 課 道 路 整 備 課 河 川 防 護 課 砂 防 課 都 市 計 画 課		

事業名	金額	説明
(一部新規) 多様な移動手段の確保	25,606,831	<ul style="list-style-type: none"> ・「自動車以外の移動手段」も選択できる社会を実現するため、「多様な移動手段の確保」に向けた取組を重点的に推進。 ①公共交通網の整備・維持 883,580千円 <ul style="list-style-type: none"> ・(一部新規)交通まちづくり戦略 ・ステーション整備(東武鉄道「阿左美駅」ほか) ・中小私鉄等への支援 ②自動車交通網の整備 22,991,124千円 <ul style="list-style-type: none"> ・上信自動車道 ・西毛広域幹線道路 ・県道桐生伊勢崎線(阿左美大原工区) ・県道南新井前橋線(2期工区、3期工区) ・国道17号 三国防災[国直轄] ・国道50号 前橋笠懸道路[国直轄] ほか ③歩行者・自転車の安全な移動空間の確保 1,732,127千円 <ul style="list-style-type: none"> ・国道401号(越本2工区) ・県道渋川下新田線(下津工区) ・県道三夜沢国停車場線(深津工区) ・県道上神梅大胡線(板橋工区) ほか
監 理 課 建 設 企 画 交 通 政 策 道 路 管 理 道 路 整 備 都 市 計 画		
(一部新規) 交通まちづくり戦略	105,079	<ul style="list-style-type: none"> ・「自動車以外の移動手段」も選択できる社会を実現するため、「群馬県交通まちづくり戦略」に掲げる事業を推進。 ・新たな移動手段(相乗りなど)の導入実証実験 9,384千円 ・バスロケーションシステム(バス位置情報検索システム)の実証実験拡大等 26,796千円 ・(新規)交通系ICカード導入のための実証実験 3,224千円 市町村等と共同で、ICカード導入時の高齢者バス定期券を検討するための実証実験を沼田地域で実施。 ・広告付きバス停上屋モデル整備 6,160千円 ・路線バス乗務員確保に向けた採用支援 990千円 ・路線バス自動運転実証実験 43,270千円 ・(新規)ユニバーサルデザインタクシー車両導入支援 9,000千円 バリアフリー化基準適合車両の導入を図るため、事業者へ補助(補助上限:300千円/台) ほか
交 通 政 策 課		
(新規) 官民連携まちづくり	3,471	<ul style="list-style-type: none"> ・県有公共施設・空間の積極的な民間活用を促すため、活用方法等、地域に即した「ぐんまモデル」を構築する。 ①構築に向けた事前調査 590千円 <ul style="list-style-type: none"> 全国の先進事例や、県内の活用ニーズ及び活用可能な公共施設等の調査を実施。 ②「ぐんまモデル」検討業務委託 2,351千円 <ul style="list-style-type: none"> モデル事業の実施や検証、情報発信や民間ニーズ把握、制度構築について、専門家に委託し、民間の見地及びノウハウを活用。 ③官民連携まちづくりミーティング 530千円 <ul style="list-style-type: none"> 官民連携まちづくりの啓蒙啓発のため、県や市町村職員のほか、興味を持っている民間関係者向けに、シンポジウムを開催。
都 市 計 画 課		

〈教育委員会関係〉

(単位:千円)

事業名	金額	説明										
桐生・みどり地区新高校整備	2,082,750	<ul style="list-style-type: none"> ・4高校を統合し、地域の中核となる2つの新高校を設置するため、必要となる施設整備を実施。 ①桐生高校、桐生女子高校を統合し、現桐生高校校地に新高校(桐生高校)を設置。 <ul style="list-style-type: none"> ・校舎増築工事 1,120,975千円 ・管理普通特別教室棟改修工事 352,947千円 ・設計・工事監理等 45,290千円 ②桐生南高校、桐生西高校を統合し、現桐生西高校校地に新高校(桐生清桜高校)を設置。 <ul style="list-style-type: none"> ・管理・特別教室棟改修工事 356,268千円 ・教室棟新築工事 150,958千円 ・設計・工事監理等 56,312千円 ・共通スケジュール <ul style="list-style-type: none"> ・R2年度 本体工事 ・R3年4月 開校(予定) 										
管 理 課 高 校 教 育 課												
藤岡特別支援学校整備	215,293 債務負担行為 (320,358)	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、仮設校舎で生徒を受け入れている高等部について、R2年9月(2学期)から新校舎で生徒を受け入れるため、必要な工事を実施。 ・小中学部と高等部が兼用する体育館の整備に着手。 <ul style="list-style-type: none"> ・新校舎 93,988千円 ・体育館設計・工事監理費等 98,805千円 ・仮設校舎リース 22,500千円 <p>(債務負担行為 320,358千円(R3年度))</p>										
管 理 課 特 別 支 援 教 育 課												
県立学校ICT環境整備	140,337 2月補正 946,737 合計 1,087,074 債務負担行為 (645,165)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学習への興味・関心を高め、分かりやすい授業や児童生徒の主体的・協働的な学びを実現するため、高等学校等及び特別支援学校にICT環境を整備。 ①大型提示装置(プロジェクタ等)、実物投影装置 80,041千円 ②可動式学習用コンピュータ・充電保管庫 7,241千円 (2月補正(中等教育学校前期課程分) 24,457千円) ③学習用ツール 978千円 ④無線LAN(サーバリース料等) 52,077千円 (2月補正(教室・体育館無線LAN工事)922,280千円) 										
管 理 課 高 校 教 育 課 特 別 支 援 教 育 課												
次代を担う職業人材育成のための教育設備充実	200,000	<ul style="list-style-type: none"> ・専門高校において、老朽化した実習用設備の更新・修繕、将来を見据えた人材づくりに必要な設備整備を実施。 (将来の人づくりに向けた設備整備テーマ) ・地域産業界のニーズに合った技術習得 ・即戦力人材(資格取得者等)の育成 ・将来を担うスペシャリスト育成 										
管 理 課												
県立学校施設ブロック塀安全対策	262,000	<ul style="list-style-type: none"> ・県立学校において、安全対策が必要なブロック塀等について安全対策を実施(R2年度で完了予定)。 <p>[参考]</p> <table> <tr> <td>H30年度既決予算対応</td> <td>3,943m (約2億円)</td> </tr> <tr> <td>H30年度11月補正対応</td> <td>2,548m (1.68億円)</td> </tr> <tr> <td>R元年度当初予算対応</td> <td>3,558m (2億円)</td> </tr> <tr> <td>R2年度当初予算対応</td> <td>5,792m (2.62億円)</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>15,841m</td> </tr> </table>	H30年度既決予算対応	3,943m (約2億円)	H30年度11月補正対応	2,548m (1.68億円)	R元年度当初予算対応	3,558m (2億円)	R2年度当初予算対応	5,792m (2.62億円)	合 計	15,841m
H30年度既決予算対応	3,943m (約2億円)											
H30年度11月補正対応	2,548m (1.68億円)											
R元年度当初予算対応	3,558m (2億円)											
R2年度当初予算対応	5,792m (2.62億円)											
合 計	15,841m											
管 理 課												

事業名	金額	説明
(新規) 子どもがスポーツに親しむ 環境の整備	19,760	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものけがが防止、外遊びの機会の増大による体力向上などのため、校庭の芝生化を推進。 ・芝生の維持管理の手間が少ない方法の実証や維持管理業務を障害者の就労・訓練の場として活用するモデル校となる公立小学校に対して補助を実施。 { <ul style="list-style-type: none"> ・補助限度額 初期費用7,000千円(補助単価1,400円/㎡) 維持管理費用2,880千円 }
管 理 課 健 康 体 育 課		
スクール・サポート・スタ ッフ配置	110,470	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の長時間労働の改善や負担の軽減に向け、大規模な小中学校を中心に、スクール・サポート・スタッフを配置。 ・スクール・サポート・スタッフ(100名・国庫1/3) 小中学校で、教員の事務作業等(学習プリント等の印刷、授業準備の補助、採点業務補助等)を行う会計年度任用職員を県が配置。
学 校 人 事 課		
ぐんま少人数クラスプロジ ェクト	1,086,650	<ul style="list-style-type: none"> ・本県独自の少人数学級編制であるさくらプラン及びわかばプランを継続実施。 ・さくらプラン 710,700千円 小学校1・2年 30人以下学級、小学3・4年 35人以下学級 ・わかばプラン 375,950千円 中学校1年 35人以下学級
学 校 人 事 課 管 理 課		
(新規) 外国人児童生徒等教育充実 総合対策(「群馬モデル」 構築)	4,468	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人児童生徒が自立し共生する「群馬モデル(学習・生活支援システム)」構築に向けた検討を進める。 ・外国人の子供等の就学に関する検討会、ワーキング グループ作業部会 1,471千円 ・日本語指導研究協議会 122千円 ・夜間中学のニーズ調査、先進地調査 2,875千円
義 務 教 育 課		
(一部新規) 外国人児童生徒等教育充実 総合対策(外国人児童生徒 等受入促進)	124,326	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人集住地域において受入れから卒業後の進路まで一貫した指導・支援を実施。外国人散在地域では効果的・効率的な日本語指導の在り方等を普及するため、R2年度から3年間市町村を重点的に支援。 ・集住地域 94,244千円 市町村が実施する日本語指導助手の配置等にかかる経費に対する補助。(国1/3、県1/3、市町村1/3) 補助先:太田市、伊勢崎市、大泉町、玉村町 ・散在地域 少数の外国人児童生徒が在籍する学校における日本語指導や学力保証のための指導・支援体制を構築。 (新規)巡回型日本語指導教員の配置 26,740千円 (新規)派遣型外国人児童生徒学習サポーターの配置 3,342千円
義 務 教 育 課 管 理 課		
外国人児童生徒等教育充実 総合対策(外国人児童生徒 等教育・心理サポート)	3,064	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語で思うようにコミュニケーションを取ることができない外国人児童生徒やその保護者に対して、母国語での電話相談等、教育面や心理面での支援を実施。 ・多言語での電話相談 1,945千円 ・母語心理カウンセリング 540千円 ・学校外日本語学習支援等 579千円
義 務 教 育 課		
(新規) ICT活用促進プロジェクト	20,296	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の情報活用能力の育成及び教員のICT活用指導力向上のため、専門家のアドバイスを受け、標準的な指導モデルを作成し、ICT機器を活用した指導の在り方を普及。 ・授業支援ソリューション業務委託 20,000千円 ・ICT活用推進協議会(先進校視察等) 296千円
義 務 教 育 課		

事業名	金額	説明
スクールカウンセラー配置	295,034	<ul style="list-style-type: none"> いじめや不登校などの未然防止や早期発見・早期対応、教職員の相談能力の向上のために、スクールカウンセラー等の配置を継続。 <ul style="list-style-type: none"> 公立小・中学校 249,776千円 <ul style="list-style-type: none"> スクールカウンセラーの全校配置（小学校303校、中学校161校） スクールカウンセラーに助言を行うスーパーバイザーの配置（5教育事務所） 県立高等学校等 45,258千円 <ul style="list-style-type: none"> スクールカウンセラーの全校・全課程配置（全日制62校、定時制13校、通信制4校）
義務教育課 高校教育課		
(新規) ぐんま留学・国際交流事業	1,264	<ul style="list-style-type: none"> 高校生の国際感覚を育成するため、新たに県内高校生に対する海外留学助成等を実施。 <ul style="list-style-type: none"> 海外留学助成 1,000千円 <ul style="list-style-type: none"> 留学（3ヶ月以上） 100千円を上限 海外研修（1週間以上3ヶ月未満） 50千円を上限 報告・交流の場「グローバル・デイ」の実施 264千円 <ul style="list-style-type: none"> 留学した高校生、県内高校で学ぶ海外留学生、外国語指導助手等の交流や報告会、留学相談会の実施。
高校教育課		
(新規) 中高生の自転車安全対策	8,516	<ul style="list-style-type: none"> 中高生に向けた自転車安全対策として、ヘルメット着用率向上のためのモデル事業を実施。 <ul style="list-style-type: none"> 高校生の着用率向上のためのモデル事業 3,099千円 <ul style="list-style-type: none"> スポーツタイプのヘルメットを配布し着用率を検証。 中学生のヘルメットデザイン自由化モデル事業 5,149千円 <ul style="list-style-type: none"> 着用が義務化されている中学生ヘルメットデザインを自由化し、卒業後の着用率等を検証。 着用推進ポスター及びPR動画の制作 268千円
健康体育課		
全国高校総体開催	406,383	<ul style="list-style-type: none"> 全国高校総体開催の幹事県として全国高体連及び開催府県等との連絡調整にあたり、総合開会式準備・運営、競技種目別大会開催補助、高校生活動による広報・啓発活動等を実施。 <ul style="list-style-type: none"> 全国高等学校総合体育大会群馬県実行委員会への補助 399,090千円 <ul style="list-style-type: none"> 実行委員会経費の主なもの <ul style="list-style-type: none"> 開会式開催費 139,897千円 競技運営調整費（競技実施に係る市町村補助等） 149,045千円 輸送・警備・防災費 65,606千円 高校生活動・広報費 24,016千円 推進室運営 7,293千円 <p><大会概要></p> <ul style="list-style-type: none"> 開会式日程：R2年8月18日（火） 開会式会場：ALSOKぐんまアリーナ 本県開催種目：サッカー、空手道、新体操、レスリング、登山
健康体育課		

〈警察本部関係〉

(単位:千円)

事業名	金額	説明
高崎北警察署 (仮称) 新設整備	206,752 債務負担行為 (2,879,169)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の安全・安心の確保とともに、より一層地域に根ざしたきめ細かな警察活動を推進するため、市町村合併で拡大した高崎警察署の管轄区域を分割し、高崎北警察署 (仮称) を新設。 ・R4年4月開署に向け、用地造成工事を引き続き実施するほか、R2年度～R3年度で庁舎建設工事を実施。
(警) 装 備 施 設 課		
(新規) 吾妻警察署 高山駐在所新築整備	50,500	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している吾妻警察署高山駐在所について、高山村中心地域に移転新築。 ・移転新築時にあわせて、手狭であった事務室や駐車場スペースを拡張し、来訪者の利便性向上を図る。
(警) 地 域 課		
交通安全施設整備	1,288,886	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故防止や安全かつ円滑・快適な交通環境を維持するため、交通安全施設を整備。 ・道路新設や学校の統廃合などによる交通状況の変化により、不要となった信号機等については撤去する。 <ul style="list-style-type: none"> ・信号機新設 (11基) ・信号制御機・柱の老朽更新 ・右折信号設置など既存施設の機能付加 ・道路標識・標示の老朽更新 ・信号機や大型道路標識等撤去 など
(警) 交 通 規 制 課		
(新規) I P R 形警察移動無線通信 システム整備	332,069	<ul style="list-style-type: none"> ・県警の情報伝達ツールである現行のA P R 形無線機が、電波法の改正によりR4年12月から使用できなくなるため、次世代通信ツールであるI P R 形無線機を整備。
(警) 通 信 指 令 課		

〈企業局関係〉

(単位:千円)

事業名	金額	説明
ぐんま未来創生基金への繰出 (一般会計への繰出)	1,000,000	<ul style="list-style-type: none"> 企業局の利益の一部を一般会計へ繰り出し、「群馬の未来創生」に向けた事業の財源とすることにより、地方創生の取組を積極的に推進。
(企)総務課	(電気事業会計)	
(新規) 霧積発電所建設	15,620 債務負担行為 (720,280)	<ul style="list-style-type: none"> 県営霧積ダムを活用した霧積発電所の建設事業に着手。 R6年度の運転開始に向けて、実施設計を実施。 <ul style="list-style-type: none"> 総事業費:7.4億円 事業期間:R2~R6 最大出力:372kW(予定) 年間発生電力量:184.4万kWh(予定)
(企)発電課	(電気事業会計)	
四万発電所リニューアル	233,310 債務負担行為 (5,165,490)	<ul style="list-style-type: none"> 既存の四万発電所のリニューアル工事に着手。 R6年度の完成に向けて、堰堤改修、電気機械設備更新などを実施。 <ul style="list-style-type: none"> 総事業費:65億円 事業期間:H30~R6 最大出力:4,970kW 年間発生電力量:1,942.2万kWh
(企)発電課	(電気事業会計)	
(新規) 産業団地等整備	2,436,000	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致の受け皿となる産業団地等を計画的に整備。 C地区(中毛) 分譲面積15.4ha、R4年度完成予定
(企)団地課	(団地造成事業会計)	

〈病院局関係〉

(単位:千円)

事業名	金額	説明
(新規) 第五次県立病院改革プラン の策定	3,263	<ul style="list-style-type: none"> 2040年の医療需要動向を踏まえ、持続可能な医療提供体制構築のため、第五次県立病院改革プランを策定する。 併せて、県立病院のあり方について検討する。
(病)総務課	(病院事業会計)	

ぐんま未来創生基金の活用

群馬県企業局が実施する事業により生じた利益の一部を活用し、群馬の未来創生に資する特色ある取組を重点的に推進する。

【基金の概要】

・令和2年度積立額 10億円

(これまでの積立実績 計30億円 R1年度10億円、H30年度10億円、H29年度10億円)

【基金活用事業】

(単位:千円) <参考>
基金充当額 (事業費)

1 未来創生に向けた人づくり	348,000	(606,142)
・次代を担う職業人材育成のための教育施設充実	150,000	(200,000)
・県立図書館資料整備	20,000	(50,512)
・特別支援学校整備	43,000	(215,293)
・県立学校ICT環境整備	135,000	(140,337)
2 人口減少対策としての交流人口増加策	270,000	(638,430)
・フィルムコミッション活動支援	2,000	(6,000)
・多文化共生・共創「群馬モデル」推進	2,000	(12,152)
・ぐんま暮らしブランド化推進	20,000	(53,311)
・G-アナライズ&PR (分析評価)	8,000	(22,155)
・農畜産物等輸出促進	23,000	(42,928)
・県産農畜産物ブランド力強化対策	19,000	(39,335)
・蚕糸業振興	1,000	(2,500)
・Gターン全力応援	20,000	(46,957)
・インバウンド誘客促進	85,000	(154,268)
・魅力ある観光地域づくり推進 (DMO)	10,000	(33,495)
・群馬デスティネーションキャンペーン	20,000	(53,852)
・コンベンション推進	30,000	(66,398)
・交通まちづくり戦略 (群馬版バスロケ実証実験など)	30,000	(105,079)
3 芸術文化・スポーツの振興	93,000	(367,679)
・戦略的文化芸術創造	10,000	(78,000)
・競技力向上・わくわく運動プロジェクト	3,000	(208,000)
・拠点スポーツ施設整備事業補助	80,000	(81,679)
4 優れた群馬の環境の保全・継承	289,000	(644,308)
・指定管理鳥獣捕獲等・鳥獣被害対策支援	140,000	(489,308)
・鳥獣害対策 (河川維持補修) [単独公共]	149,000	(155,000)
合 計	1,000,000	(2,256,559)

主な見直し事業一覧

(単位:千円)

事業名	金額 (見直し額)	説明
東国文化周知	3,943	<ul style="list-style-type: none"> ・東国文化に関する副読本を作成・活用するとともに、イベントの実施等による情報発信を実施。 ・イベントの実施等による情報発信については、R元年度限りで廃止。動画・放送スタジオ等を活用し、より低コストに効率的・効果的な情報発信を実施。
文化振興課	(▲7,872)	
救急医療機関協力推進	0	<ul style="list-style-type: none"> ・県が指定した救急医療機関に対し、時間外診療等への協力に対する助成として、交付金を交付。 ・交付額：病院50千円 診療所40千円 ・R元年度限りで廃止。
医務課	(▲6,380)	
認定看護師研修支援	0	<ul style="list-style-type: none"> ・認定看護師研修に参加する看護師の費用（人件費、受講料、旅費等）について、医療機関等へ補助。 ・補助率：1/2（基準額2,400千円） ・R元年度限りで廃止。
医務課	(▲42,000)	
老人福祉施設整備費補助 (大規模修繕)	70,000	<ul style="list-style-type: none"> ・広域型特別養護老人ホーム等が行う施設・設備の修繕に対して補助。 ・補助率：1/2以内（補助上限額20,000千円） ・R2年度から、長寿命化に重点を置いた見直しを行う。
介護高齢課	(▲60,000)	
外国人未払医療費対策	3,989	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の医療機関を受診した医療保険の適用のない外国人の医療費について、1年間の回収努力を行っても支払われなかった場合に、医療機関へ補助。 ・補助額：未払医療費の7割（県8/10、市町村2/10） ・R2年度限りで廃止。
国保援護課	(0)	
林業・木材産業構造改革事業費補助	99,312	<ul style="list-style-type: none"> ・高性能林業機械の導入や木質バイオマス利用促進施設等の整備に対する補助。高性能林業機械の導入に対しては、H28年度に終了した国による基金事業（補助率 国50/100、県15/100）の激減緩和措置として、国庫補助に加え、県の任意継足（補助率15/100以内）を実施。 ・県の任意継足はR元年度限りで廃止。
林業振興課	(▲11,430)	
ぐんまの木で家づくり支援	112,690	<ul style="list-style-type: none"> ・県産材を使用した住宅建設に対する補助。 ・R2年度限りで廃止。 ・R2年度は、激変緩和として、補助対象を県産材使用割合90%以上の区分に限定したうえで実施。
林業振興課	(▲166,710)	
商業活性化支援	3,646	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街活性化及び買い物弱者支援を図るモデル事業にかかる経費を市町村と協調して補助。 ・継続中のハード事業を除きR元年度限りで補助金を廃止。 ・R2年度は、商店街のあり方を検討する検討会やクラウドファンディング型ふるさと納税を活用し、商店街の課題を解決する事業者への補助を開始。
商政課	(▲3,354)	
シルバー人材センター補助	0	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村シルバー人材センターの就業開拓の促進や会員拡大の促進を図るための経費を補助。 ・R元年度限りで廃止。
労働政策課	(▲4,320)	

事業名	金額 (見直し額)	説明
千客万来支援	80,000	<ul style="list-style-type: none"> 市町村や民間団体が取り組む企画の優れた観光振興施策等に対し補助。 I C T活用を誘導する観点から、補助対象からアナログ媒体（看板・パンフレット等）を除外。
観光物産課	(▲60,000)	
交通まちづくり戦略 (東毛広域幹線道路B R T整備)	0	<ul style="list-style-type: none"> 東毛広域幹線道路へB R T整備を検討したもの。 事業の効果や採算性等について、一度立ち止まって検討する必要があるため、R 2年度予算への計上を見送り。
交通政策課	(-)	
教育放送	0	<ul style="list-style-type: none"> 教育現場が実施する様々な取組を周知するために教育番組を制作し、テレビで放送。 R 元年度限りで廃止。動画・放送スタジオ等を活用し、より低コストに効率的・効果的な情報発信を実施。
生涯学習課	(▲63,154)	